

中空知衛生施設組合地球温暖化対策実行計画の進捗状況について

中空知衛生施設組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、地方公共団体実行計画(中空知衛生施設組合地球温暖化対策実行計画)を令和3年度に策定し、公共施設等に関わる地球温暖化対策を進めています。

この度、令和6年度(2024年)の二酸化炭素排出量の算定結果がまとめたので、計画の進捗状況とあわせて公表します。

1 二酸化炭素の排出状況

中空知衛生施設組合における令和6年度(2024年)の二酸化炭素排出量は、1,066.70 t となりました。平成25年度(2013年)と比較すると、576.1 t減少しました。

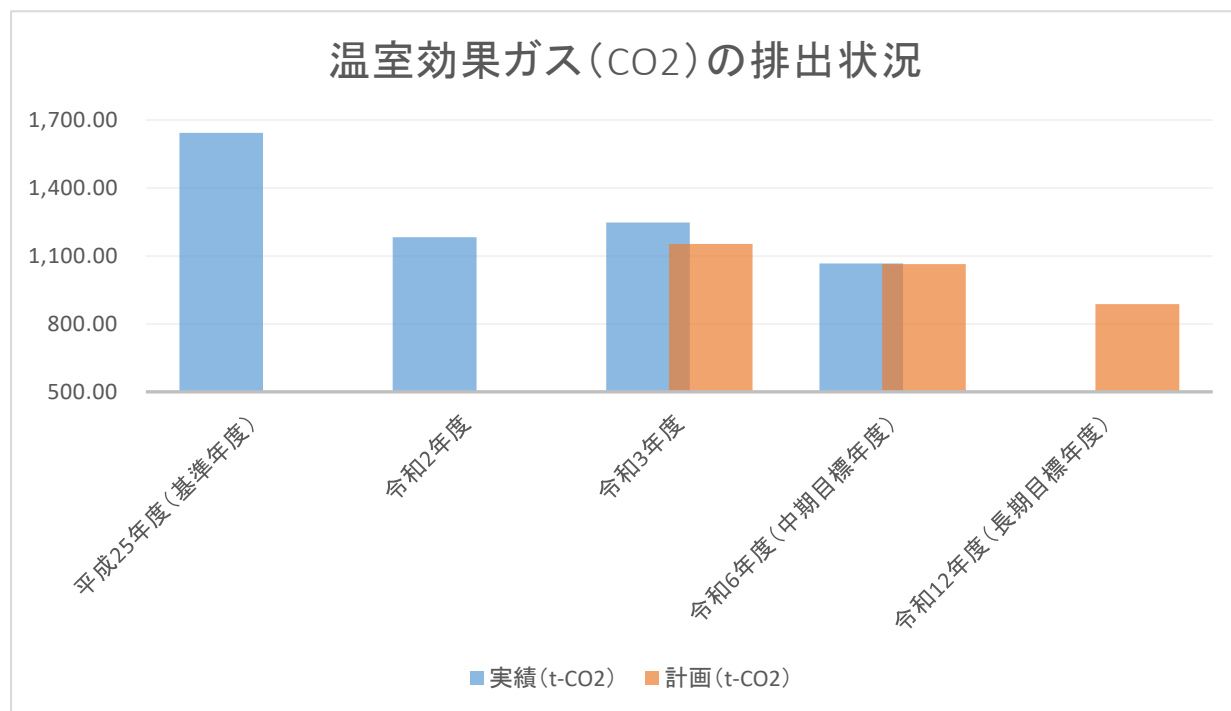
燃料種別では、リサイクルンでの重油使用量や動物用小型焼却施設での灯油使用量の増加となりましたが、そのほかの燃料は減少傾向にあります(滝の川斎苑については、改築に伴う使用燃料の変更等から、LPガスの使用に伴いCO2排出量が増加)。また、リサイクルンのLED化を進めていることなどから、電気の使用に係るCO2排出量が△540.7t減少しています。

要因別では、施設の廃止も含め、CO2排出量は△565.6t、公用車に係るCO2排出量のCO2排出量は△10.5tと減少し、それぞれ基準年に対し36.6%、10.7%と削減しました。

2024年度（令和6年度）要因別温室効果ガス排出量										
項目				単位	基準年度（平成25年度）			令和6年度		
					使用量	CO2換算		使用量	CO2換算	
						排出量（t-CO2）	割合（％）		排出量（t-CO2）	割合（％）
施設	中空知衛生施設 組合リサイクルン	施設の燃料の使用	A重油	ℓ	36,500	98.92	6.02	68,770	189.12	17.7
			灯油	ℓ	60	0.15	0.01	0	0.00	0.0
			軽油	ℓ	48,000	123.84	7.54	28,657	75.08	7.0
			ガソリン	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			LPガス	m³	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
		施設の電気の使用		kWh	1,168,200	803.72	48.92	1,136,011	588.45	55.2
		計					1,026.63	62.49		852.65
	中空知衛生施設 組合動物用小型 焼却施設	施設の燃料の使用	A重油	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			灯油	ℓ	2,548	6.34	0.39	5,476	13.69	1.3
			軽油	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			ガソリン	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			LPガス	m³	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
		施設の電気の使用		kWh	4,205	2.89	0.18	3,087	1.60	0.1
		計					9.24	0.56		15.29
	中空知衛生セン ター	施設の燃料の使用	A重油	ℓ	12,607	34.16	0.00	0	0.00	0.0
			灯油	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			軽油	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			ガソリン	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			LPガス	m³	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
		施設の電気の使用		kWh	544,000	374.27	0.00	0	0.00	0.0
		計					408.44	0.00		0.00
	滝の川斎苑	施設の燃料の使用	A重油	ℓ	0	0.00	0.00	0	0.00	0.0
			灯油	ℓ	34,230	85.23	5.19	0	0.00	0.0
			軽油	ℓ	0	0.00	0.00	200	0.52	0.0
			ガソリン	ℓ	250	0.58	0.04	280	0.64	0.1
			LPガス	m³	890	5.83	0.35	21,035	51.12	4.8
		施設の電気の使用		kWh	12,093	8.32	0.51	112,859	58.46	5.5
		計					99.96	6.08		110.74
	小計					1,544.26	69.14		978.68	91.7
公用車		車両燃料の使用	ガソリン	ℓ	2,747	6.37	0.39	640	1.47	0.1
			軽油	ℓ	35,739	92.21	5.61	33,051	86.59	8.1
		計			98.58	6.00		88.06	8.3	
合計						1,642.84	75.14		1,066.74	100.0

2 計画の進捗状況

令和6年度（2024年）は基準年（2013年）に対し35%減の576.1tの減という結果となりました。令和3年度（2021年）より181.7t減少し、中期目標年ではほぼ計画達成となっております。さらに目標年である令和12年度（2030年）に向け、後期計画では6年間で約180tの削減を進めていく必要があります。



3 点検評価結果

施設の統合等もあり排出施設が減る一方で、リサイクルの施設老朽化や、滝の川斎苑の改築等もあり、一部増加傾向も見受けられるものの、順調な削減を進んでいることから、計画の実効性をさらに高めるためにも、必要な対策を講じていくこととします。

長期目標（令和12年度）は、46%の削減を目標としておりますが、国は50%の高みを掲げており、目標値の変更を検討し、実現可能な対策としては、主にLED化事業の推進など具体的に取組みを進めてしていくことが求められます。

